

第3回 秋田テルサ自主映画上映会 プログラム

上映作品ラインナップ

1 「あいもかわらず」 22分 今村洋平 監督 アオモリボーイズ（青森）

久しく映画作りから遠ざかっていましたが、5年ぶりに新作を撮る機会に恵まれて 大変嬉しく思いました。
声をかけて頂いたスタッフに感謝です。現在、東京で暮らしていますが、いつか故郷である青森を舞台にした
作品を撮りたいと 思っています。

2 「宇宙の片隅」 6分 aomorigonta 監督 アオモリボーイズ（青森）

午前3時、それは新しい始まりを予感させる時間帯。
世界を振り返るきっかけとなつた3月11日、私たちは新しい夜明けを切り開いてゆく。

3 「パーフェクトスマイル？」 13分 勝田睦樹 監督 秋田コネキネマ（秋田）

合コンで変顔写真を撮られた娘は、写真を削除するため、深夜、男の部屋に侵入する。
しかし男が起き出てしまい…。

4 「田園2丁目10番地」 10分 フナキトキコ 監督 アオモリガールズ（青森）

彼女がりんご畠で目覚めたとき、人間は唯一として世界に存在しなかった。
一片の歌しか覚えていない彼女。話相手になったのは、人間の言葉を喋るラジオだった…。
田園にとりのこされた、一人と1ラジオの物語。

5 「日没の幼児」 6分 基村英行 監督 漫画研究会 扉の眼（新潟）

漫画研究会 扉の眼、記念すべきアニメ作品第一弾。素朴な切り絵アニメです。
幼少期に感じた夕暮れどきのノスタルジックな世界を描きました。
山形自主制作映像祭 2008にて上映させていただきました。
新潟を代表する演劇人の一人、安達修子さん（山形出身）に声で出演していただいております。

6 「夜明けの心臓」 6分 基村英行 監督 漫画研究会 扉の眼（新潟）

扉の眼、アニメ作品第二弾。生命誕生のドキュメンタリーにインスピアされてつくった切り絵アニメ。
2008年にいがたインディーズムービーフェスティバルで上映させていただきました。

7 「喪失デップ」 46分 高橋 諒 監督 福島自主制作映像祭（福島）

とある合コンのつながりで企画された男女6人旅行。途中は旅行中のカップル成立に巻くが、当日女1人がまさかのドタキャン…。
テンションの下がった男たちは全員帰ってしまう始末。
急遽取り残された女2人の寂しい温泉旅行がはじまるが、その途中、一糸まとわぬ姿で川べりに横たわる男を発見。
一転して旅行は不穏な雰囲気に…。映画サークル出身2人の必要最小限スタッフで制作された旅情たっぷりの青春ムービー。

8 「シビレ田電気」 9分 遠藤直隆 監督 秋田コネキネマ（秋田）

とある電気屋の青年によって設置されたデジタルテレビ、早くも故障を起こし客の男は激怒。
おろおろと頭を下げる電気屋の男を容赦無く責め立てる。仕舞いに『出て行け！！お前の顔なんかもうみたくないよ！！』と
怒鳴り散らされ、その家を後にする電気屋の男、その後テレビは無事復旧したかに見えたが何かが変わった。
放送されているあらゆる番組に登場する人物の顔がすべて電気屋の男の顔であった。
しかもそのどの番組も表面的な体裁を取り繕っただけの不毛な偽番組ばかりであった。

9 「福島未来構想論」 7分 五十嵐英祐 監督 東北芸術工科大学（山形）

東日本大震災で甚大な被害を受けた東北。福島。一年経った今も放射能、風評被害と戦っている福島県民がいる。
今、福島県民は福島に対しどのような思いを抱き、これからどう向き合って行くのか。未来の福島は、私たちが守っていく。